



藤岡建設(株)の移動式建設廃棄物粉碎機モービルクラッシャー



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は、市内企業の所有する様々な技術を紹介する「我が社の得意技」などについてお知らせします。

我が社の得意技 ⑧  
「捨てない土木」でコストと環境負荷を低減

藤岡建設株式会社 (周布)



▲リサイクルへの強い思いと夢の実現に向け、積極的に取り組む藤岡社長

得意分野は現場リサイクル

「人が困っていることを仕事にすることで、企業は地域から認められます。だからこそ、リサイクル事業を推進しています」と藤岡建設(株)藤岡一貴社長は語る。藤岡建設は昭和30年創業、昭和59年に前社長が産業廃棄物処分業の許可を取得したことを機に、現場リサイクルへの道がスタートした。つまり、建設リサイクル法が施行される10年近く前からリサイクル事業に取り組んでいることになる。

成功の秘訣は人材育成

「成功の秘訣として最も重要なことは、やる気を持った人材を育成することです」と藤岡社長は話す。リサイクル事業は高い技術が求められるため、社員一人ひとりの資質を高めることに積極的に力を入れており、今では売上の3割はリサイクル部門が占めている。藤岡社長の目標は、再生品で全国制覇をすること。「捨てない土木」実現に向けた取り組みが続いている。(レポーター…技術相談室アドバイザー 戸田)

「成功の秘訣として最も重要なことは、やる気を持った人材を育成することです」と藤岡社長は話す。リサイクル事業は高い技術が求められるため、社員一人ひとりの資質を高めることに積極的に力を入れており、今では売上の3割はリサイクル部門が占めている。藤岡社長の目標は、再生品で全国制覇をすること。「捨てない土木」実現に向けた取り組みが続いている。(レポーター…技術相談室アドバイザー 戸田)

OB人材活用推進  
事業のご紹介

サイクスでは今年度、四国経済産業局から委託を受け、「団塊世代を中心とした企業OB人材の活用に関する調査」を西条市や新居浜市、新居浜高専などの関係機関と連携し、実施しています。本事業では、地域中小企業の開発力・管理能力の向上を図るために、経験豊富な企業OBを活用し、地域中小企業ニーズにマッチングすることをめざしています。

参加者募集のお知らせ  
わくわく化学教室&  
工場見学(第3回目)

化学のおもしろさを多くの人に知ってもらうため、クラレ西条事業所にて、今年度3回目の「わくわく化学教室&工場見学」を開催します。

テーマ 繊維ってなんだろう  
日時 2月16日(土)  
9時~14時(昼食付)

内容 わくわく化学教室と工場見学を行います。  
対象 小学5・6年生(保護者同伴も可能)

定員 30人(申込者多数の場合は、抽選で決定します)  
場所 (株)クラレ西条事業所

申込方法 1月31日(木)までに産業情報支援センターのホームページからお申し込みいただくか、電話またはファックスでお申し込みください。  
ファックスでお申し込みの際は、各学校を通じて配布した申込書に必要事項を記入して送信してください。



申込先  
産業情報支援センター